

静岡県収入証紙
はり付け欄
〔消印をし〕
はいこと

採取計画認可申請書

×整理番号	
×審査結果	
×受理年月日	年 月 日
×認可番号	

年 月 日

静岡県知事 様

住 所
氏名又は名称及び
法人にあっては、
その代表者の氏名

登 録 年 月 日
及 び 登 録 番 号

採石法第33条の規定に基づき、次のとおり採取計画の認可を申請します。

1 岩石採取場の区域 総 計 m²

区 分	所 在 地	地 目	面 積 m ²
採取場			
採取場所			
破碎・選別工場			
堆積場			
その他			

2 採取をする岩石の種類及び数量

採取量		岩石の種類			摘 要
期 間 採 取 量 内 訳	1年目年間採取総量	m ³	m ³		
	2年目年間採取総量				
	3年目年間採取総量				
	4年目年間採取総量				
	5年目年間採取総量				
合 計		(m ³ t)	(m ³ t)	岩石の比重	
月間最大採取量					

3 採取の期間

年 月 日 より 年 月 日 まで

(1) 採取方法

坑 內 堀

機 械 の 名 称	能 力	台 数

種 別							
年間使用予定量							
1 回最大使用量							

小割機械 有 (名称)

機 械 の 名 称	能 力	台 数

(5) 運搬機械

機 械 の 名 称	能 力	台 数

5 岩石の採取に伴う災害の防止のための方法及び施設に関する事項

(1) 採取場の周辺 300m以内における土地の使用状況、公共施設、建物等の状況…（見取図別添）

(2) 岩石の採掘による災害の防止の方法及び施設

※予想される災害の態様（土地の崩壊、亀裂、陥没、土砂流出、転落石等）と災害が及ぼす範囲、災害の防止措置を記載すること。

(3) 発破による災害の防止の方法及び施設

※予想される災害の態様（落石、粉じんの飛散、騒音、振動等）と災害が及ぼす範囲、災害の防止措置を記載すること。

(4) 破碎選別施設における災害の防止の方法及び施設

※予想される災害の態様（粉じんの飛散、騒音、振動等）と災害が及ぼす範囲、災害の防止措置を記載すること。

(5) 岩石の洗浄等による汚濁水の処理の方法及び施設

① 汚水発生量及びその水質 ($\text{m}^3/\text{日}$)

② 災害が及ぼす範囲

③ 処理施設

④ 排出水の水量及びその水質 ($\text{m}^3/\text{日}$)

⑤ 沈殿物の処理方法

⑥ 場内排水系統 (図面添付)

(6) 脱水ケーキの処理の方法及び施設

① 脱水ケーキの量 () m^3 産出計算書添付

② 災害が及ぼす範囲

③ 処理方法

ア 場外最終処分場で処理する場合は最終処分場名

イ 再生利用する場合にはその計画

④ たい積（一時保管）する場合の措置

ア 保管場の容積 () m^3

イ 立地条件

ウ 脱水ケーキの強度向上措置

エ 土留施設 (図面添付)

オ 排水施設 (図面添付)

カ 安定計算の結果 (安定計算によらない場合はその理由、傾斜の勾配、たい積高さ等について記載)

⑤ 粉じんの飛散防止措置

(7) 廃土又は廃石のたい積方法及び施設

① 廃土又は廃石の量 () m^3 産出計算書添付

② 災害が及ぼす範囲

③ 場内たい積の場合

ア 保管場の容積 () m^3

イ 立地条件

ウ 土留施設 (図面添付)

エ 排水施設 (図面添付)

オ 安定計算の結果 (安定計算によらない場合はその理由、傾斜の勾配、たい積高さ等について記載)

④ 粉じんの飛散防止措置

(8) 採取跡の措置の方法及び施設

- ① 災害が及ぼす範囲
- ② 露天掘りの場合
 - ア 土留工事
 - イ 小段の設置
 - ウ 崩壊防止のための採取跡の傾斜面の適正勾配
 - エ のり面保護工事
 - オ 植栽その他の採取跡の措置
- ③ 坑内掘りの場合
 - ア 土地の亀裂又は陥没防止のための採取跡の充填
 - イ その他の採取跡の措置
- ④ 当該措置の工事費

(9) 石、製品及び廃土等の運搬に伴う措置

- ① 岩石の搬出方法、平均搬出量 (t / 日、 台数、 t 車延 台)
 - ア 国道又は県道にいたるまでの盤出経路図別添
- ② 岩石の搬出に伴う災害防止措置

6 岩石の賦存の状況

7 採取をする岩石の用途

採取しようとする岩石の名称	年 生 産 間 量 (単位 t)	年間生産量の製品別内訳（単位： t）											工 原 業 用 料
		砕 石						石 材					
		道 路 用	コ ン ク リ ー ム 用	鉄 道 床 用	砂	そ の 他	小 計	切 石	割 間 知 石	割 くり 石	そ の 他	小 計	
計													
主な仕向地													

8 廃土又は廃石のたい積の方法

(平層状たい積法 ・ まき出したい積法 ・ 投下たい積法)

9 その他参考事項

業務管理者に関する書面 (別紙のとおり)

別紙

業 務 管 理 者 に 関 す る 書 面

事務所の名称		所在地	TEL	
業務管理者氏名	生 年 月 日	住 所	勤務時間	

監督計画

- (備 考)
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 ×印の項は、記載しないこと。
 - 3 「廃土又は廃石のたい積の方法」については、たい積の方法のほか、たい積場の設置場所、傾斜面のこう配等について記載すること。